

しらやま

白山小学校だより No.21

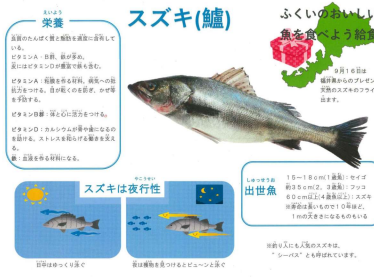
令和2年9月23日

☆☆☆ 福井のおいしい魚を食べました ☆☆☆

16日(水)、福井県の特産食材を使用した「ふくいので場産学校給食」が提供されました。この日は「ふくいのおいしい魚を食べる給食」です。本県でとれたスズキを使ったフライにソースをかけた「スズキフライのあけぼのソースかけ」や新鮮な食材がたくさん入った「ふくいのおい汁」などの献立で、おおい町でとれた完熟梅で作られたゼリーも付きました。子どもたちは、福井で作られた食材たっぷりの給食を楽しんでいました。

地元の味を楽しんだ子どもたちからは、「スズキフライはカリッとしてかみ応えがあり、おいしかった。」「中はふわっとしてソースと合っていておいしい。」「スズキを食べ、一番好きな魚が変わった。おいしかったので、また給食に出してほしい。」「梅は苦手であり食べないけど、今日のゼリーはおいしかった。」という声が聞こえてきました。

給食前には各学級で、スズキや梅、福井県出身の「食のお医者さん」である石塚左玄についての指導も行い、食べるだけではなく、知識も深めました。



◇◇◇ アメリカザリガニ駆除 ◇◇◇

16日(水)、市産業環境部農政課の藤長さんにご指導をいただきながら、5年生が外来種学習の一環として鴉が平のため池でアメリカザリガニ駆除を行いました。アメリカザリガニは名前の通りアメリカ原産で、在来の生物を食い荒らし、水草を刈って生態系を破壊するなかなかの厄介者です。今から90年以上前の1927年に食用のウシガエルのエサとして持ち込まれたのが20匹で、そこから全国に広がったといわれています。わずか20匹が約90年で日本のどこにでも見られるくらいまでに増えてしまったことに子どもたちは驚いていました。

約40分で15匹をつり上げた子どもたちですが、この学習を通して、さらに白山の環境に目を向けていってほしいものです。

